

福島県立図書館

No.110

展示・イベント情報

宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022

主催 宮城県美術館 khb 東日本放送

場所 宮城県美術館 期間 2月5日(土)～3月27日(日)

HP <https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/20220205-s01-01.html>

連続講演「DX時代の図書館と児童ヤングアダルトサービス」

主催 国立国会図書館 国際こども図書館

Youtube を利用したオンデマンド配信 (期間なし)

HP <https://www.kodomo.go.jp/event/special/dxlecture.html>

受賞図書

海外受賞図書の翻訳情報

主な海外受賞図書で、翻訳出版された作品等を紹介します。

カーネギー賞

☆2020 ショートリスト(最終候補作)

『少女と少年と海の物語』(クリス・ヴィック／著 杉田七重／訳 東京創元社 2021.5)

☆2019 ショートリスト

『ヤーガの走る家』(ソフィー・アンダーソン／作 長友恵子／訳 小学館 2021.3)

※ブランフォード・ボウズ賞 2019 ショートリスト(候補作)

ケイト・グリーナウェイ賞

★2021 受賞作

『このまちのどこかに』(シドニー・スミス／さく せなあいこ／やく 評論社 2021.1)

※カナダ総督文学賞 児童書部門(絵部門)2019 受賞

※ドイツ児童文学賞 絵本部門 2021 ※エズラ・ジャック・キーツ賞 2020受賞

コールデコット賞

☆2019 オナー

『アルマの名前がながいわけ』

(ファナ・マルティネス-ニール／作 宇野和美／訳 ゴブリン書房 2020.10)

スコット・オデール賞

★2003 受賞作

『彼方の光』(シェリー・ピアソル／作 斎藤倫子／訳 偕成社 2020.12)

全米図書賞・児童文学部門

☆2020 ショートリスト

『オマルとハッサン 4歳で難民になったぼくと弟の15年』

(ヴィクトリア・ジェミスン／作 オマル・モハメド／原案 イマン・ゲディ／彩色 中山弘子／訳 滝澤三郎／監修 合同出版 2021.5)

★2014 受賞作

『わたしは夢を見つづける』(ジャクリーヌ・ウッドソン／作 さくまゆみこ／訳 小学館 2021.8)

※ボストングローブ・ホーンブック賞(ノンフィクション部門)2015 オナー

※ニューベリー賞 2015 オナー ※コレッタ・スコット・キング賞(作家部門)2015受賞

※ロバート・F・サイバート知識の本賞 2015 オナー

ボストングローブ・ホーンブック賞

☆絵本部門 2021 受賞作

『ぼくは川のように話す』

(ジョーダン・スコット／文 シドニー・スミス／絵 原田勝／訳 偕成社 2021.7)

※シュナイダー・ファミリーブック賞(ヤングチルドレン部門)2021受賞

カナダ総督文学賞 児童書部門

★物語部門 2012 受賞作

『ぼくだけのぶちまけ日記』(スーザン・ニールセン／作 長友恵子／訳 岩波書店 2020.7)

コスタ賞 児童書部門

☆2020 ショートリスト(候補作)

『フレディ・イエイツのとんでもなくキセキ的な冒険』

(ジェニー・ピアソン／作 岩城義人／訳 ロブ・ビダルフ／絵 岩崎書店 2021.6)

バンカレリーノ賞

☆2013 受賞作

『紙の心』(エリーザ・プリチェッリ・グエッラ／作 長野徹／訳 岩波書店 2020.8)

ブラチスラバ世界絵本原画展賞

★2021 金牌

『たまごのはなし』(しおたに まみこ／作 ブロンズ新社 2021.2)

フェニックス賞・フェニックス絵本賞 ※受賞年の20年前に出版された作品が対象

☆2021 オナー

『ホエール・トーク』(クリス・クラッチャー／著 金原瑞人／訳 西田登／訳 青山出版社 2004.3)

☆2021 絵本賞オナー

『レッド・ツリー 希望まで360秒』(ショーン・タン／作 早見優／訳 今人舎 2004.3)

第31回 Bunkamura ドウマゴ文学賞

日本語の文学作品の中から選ばれる賞ですが、今回、初めて絵本が受賞しました。

『海のアトリエ』(堀川理万子／著 偕成社 2021.5)